

花 学習と指導の流れの例

■**学習の目標**：歌詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫しよう。

●**主な学習の窓口**〔共通事項〕：リズム／旋律／強弱

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 歌詞の表す情景や味わいに興味・関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。
2. 旋律のリズム、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
3. 歌詞の言葉の美しさ、情景や味わいを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
・ 範唱を聴く。	・ 伴奏や旋律の動きに注目しながら聴かせる。	・ 歌詞が表す情景や味わいに興味・関心をもって取り組んでいる。
・ 曲全体を歌詞唱する。	・ 歌詞の内容を理解しながら歌わせる。 ・ 各パートの音の高さに気をつけながら歌わせる。	【1：表情観察】
・ 各フレーズの言葉と旋律のリズムとの関係を理解する。	・ 休符が効果的に使われていることに気づき、言葉と旋律のリズムとの関係を感じ取らせる。	・ 旋律のリズムや強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特徴、雰囲気を感じながら歌唱している。
・ 言葉や旋律のリズムの動きを意識しながら歌う。	・ 言葉と旋律のリズムとの関係を感じ取りながら歌わせる。	【2：行動観察、演奏聴取】
・ 強弱の変化に注目し、曲にふさわしい発声を意識しながら歌う。	・ 言葉の美しさや情景を感じ取らせる。	・ 歌詞の言葉の美しさ、情景や味わいを生かした音楽表現をするために必要な発声を身につけて歌っている。
・ これまでに学習したことを再確認し、意識しながら歌う。	・ これまでに学習したことを再確認し、表現させるようにする。 ・ 二部合唱も行い、美しいハーモニーを感じ取らせる。	【3：行動観察、演奏聴取】

風の中の青春 学習と指導の流れの例

■学習の目標：曲のしくみを理解して表現を深めよう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：旋律／テクスチャ／強弱／形式、構成

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 楽曲の構成について興味・関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。
2. 各フレーズの音の動きや重なり方、強弱などの曲のしくみを理解し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。
3. 各フレーズの音の動きや重なり方、強弱などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
・ 範唱を聴く。	・ 旋律の動きや楽曲の構成に注目しながら聴かせる。	・ 楽曲の構成に興味・関心をもって取り組もうとしている。
・ 主旋律を歌詞唱する。	・ リズムや音の高さに気をつけながら歌わせる。 ・ 主旋律の音の動きや強弱を理解させる。 ・ 歌い出しやフレーズの歌い方を工夫させる。 ※ 教科書 p.11 の「主旋律の歌い方」を参考にする。	【1：表情観察，演奏聴取】
・ 各パートに分かれて歌唱する。	・ 各フレーズの自分のパートの役割（主旋律，副次的な旋律）を理解しながら歌唱させる。 ・ 音の高さ，リズム，強弱にも気をつけさせる。	
・ 各フレーズの音の重なり方について考える。	・ 各フレーズの音の重なり方に注目し，副次的な旋律の歌い方について各パートで考えさせる。 ※ 教科書 p.11 の「副次的な旋律の歌い方」を参考にする。	・ 音の重なり方を理解し，どのように表現するかについて思いや意図をもって歌っている。 【2：行動観察，発言内容，ワークシート】

<ul style="list-style-type: none">・ 全体で二部合唱をする。	<ul style="list-style-type: none">・ 各パートの役割や音の重なり方について理解させ、それらを生かした表現を工夫しながら歌唱させる。	<ul style="list-style-type: none">・ 自分のパートの役割を理解しながら合唱している。 【2：表情観察，演奏聴取】 【3：行動観察，演奏聴取】
---------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

花の街 学習と指導の流れの例

■学習の目標：詩や曲がつくられた背景を理解して、曲にこめられた思いを表現しよう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：旋律／強弱／音色

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 美しい日本の「心の歌」として興味・関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。
2. 旋律の動きや強弱に注目し、それらの働きが生み出す音色や雰囲気を感じながら、詩にこめられた作詞者の思いを生かした音楽表現を工夫している。
3. 旋律の動きや強弱について理解し、楽曲を表現するために必要な技能を身につけて歌っている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
・ 範唱を聴く。	・ 美しい日本の「心の歌」として曲想を感じ取りながら聴かせる。	・ 詩や曲がつくられた背景に興味・関心をもち、曲にふさわしい表現を工夫して歌う学習に意欲的に取り組もうとしている。
・ 詩や「作詞者の言葉」を朗読し、この詩や曲がつくられた背景を理解し、曲にこめられた思いを感じ取る。	・ 詩や「作詞者の言葉」をもとに、当時の戦争の恐ろしさやつらさ、平和が訪れたときの大きな期待や思いがあったことについて理解させる。	【1：表情観察，演奏聴取】
・ 歌詞唱する。	・ 歌詞の内容を理解させ、果てしなく未来へ続く希望の思いをもって、それを表現に生かすよう工夫させる。	
・ 作曲者について学習する。 ・ 旋律の動きや強弱について理解する。	・ 弱起による歌い出しや、それぞれのフレーズの強弱に注目させ、歌い出しが同じリズムであってもフレーズごとに違いがあることを理解させ、表現の工夫につなげる。	・ 曲にこめられた思いや、楽曲のしくみなどを理解し、表現の工夫に生かしている。 【2：表情観察，行動観察】
・ 曲全体を歌詞唱する。	・ 詩にこめられた思いや、旋律の特徴を感じ取りながら歌唱表現を工夫させる。	・ 曲にこめられた思いや楽曲のしくみなど、これまでに学習したことを理解、感受しながら歌っている。 【3：行動観察，演奏聴取】

My Melody 学習と指導の流れの例

■学習の目標：詩に旋律をつけてみよう！

●主な学習の窓口〔共通事項〕：リズム／旋律／形式,構成

教材の評価規準の例（創作）

1. 言葉の特徴を生かしてまとまりのある旋律をつくることに意欲的に取り組もうとしている。
2. 言葉の特徴を感じ取って、それに合うまとまりのある旋律をつくることに思いや意図をもっている。
3. 反復や変化などの音楽のしくみを生かして旋律をつくるための技能を身につけてつくっている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> • Step1 の詩を読んだあと、Step2 の旋律を歌い、詩と旋律との結び付きを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 各段とも前半と後半のリズムの対比が、詩のシラブルとの関わりによって生まれていることに気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 詩と旋律の結び付きを理解することに意欲的に取り組もうとしている。 <p>【1：表情観察，発言内容】</p>
<ul style="list-style-type: none"> • Step2 の 2 段目に注目し、変化している理由とその効果について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 2 段目の歌い出しと後半 2 小節の変化がなぜ必要なのかについて意見交換をさせる。 	
<ul style="list-style-type: none"> • Step3 の詩を用いて旋律をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 最初に詩の抑揚を書き、それを生かした旋律を考えさせる。 • 1 段目は続く感じ、2 段目は終わる感じにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 詩の特徴に合った旋律をつくることに意欲的に取り組もうとしている。 <p>【1：表情観察，ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 音楽のしくみを生かし、まとまりを工夫して旋律をつくっている。 <p>【2：ワークシート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> • つくった旋律を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 工夫したところを発表して、それがどのような効果を上げていたか意見交換をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 反復や変化，旋律の高低などの効果を理解して旋律をつくっている。 <p>【3：ワークシート，発言内容】</p>

L-O-V-E 学習と指導の流れの例

■**学習の目標**：曲の感じに合った声で，リズムを工夫して歌おう。

●**主な学習の窓口**〔共通事項〕：リズム／旋律／強弱／音色

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 曲の感じに合った声やリズムを理解し，表現を工夫する活動に意欲的に取り組もうとしている。
2. 英語歌詞のリズムや抑揚の特徴を理解し，歌唱表現に生かそうと努めている。
3. 曲の感じに合った声で，リズムの特徴や曲のもつ雰囲気表現する技能を身につけて歌っている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
・ 階名唱（移動ド）で楽譜どおりに歌う。	・ 楽譜で使われている最短音符が 4 分音符であることを意識させる。	・ 基本のメロディーの形を把握し，階名唱に取り組もうとしている。
・ 単語それぞれの発音と，歌詞になった際に生じるリズムを理解する。	・ 歌詞を読み上げるときに生じるリズムと，楽譜どおりのリズムの比較をさせ，楽譜どおりでは言葉として不自然なところがあることを理解させる。	【1：行動観察，演奏聴取】 ・ 歌詞の特徴となる発音のスピード感や単語の強調などについて理解し，歌唱表現を工夫している。
・ 楽譜どおりに歌ったあとで，指導用 CD の演奏を聴き，リズムなどが楽譜と異なっていることを確かめ，それによって受ける印象の違いについて考える。	・ 指導用 CD の演奏では，「the way」「the only」などの部分でシンコペーションが生じていることを理解させる。 ・ 「L」「look」などでは，その言葉を印象付けるために短く音を切っていることを理解させる。 ・ その他，基本のメロディーを変えて演奏されるジャズのフェイクなどの手法による印象の違いも示す。	【2：行動観察，演奏聴取】
・ 曲の感じに合った歌唱表現を工夫する。	・ シンコペーションやフェイクなどの手法を用いて，自分なりの歌唱表現を工夫するよう促す。	・ 曲の特徴を味わって，それに迫る歌唱表現を実現させている。 【3：演奏聴取】

上を向いて歩こう 学習と指導の流れの例

■学習の目標：曲の感じに合った歌い方や発音を工夫しよう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：旋律／テクスチャ

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 曲想に合った歌い方を目指し、表現を工夫する活動に意欲的に取り組もうとしている。
2. 曲想を形づくる旋律の特徴や、言葉との結び付きを理解し、表現を工夫している。
3. 他声部や伴奏を意識しながら、曲想にふさわしい表現をするための技能を身につけて合唱している。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の成立の背景を理解し、主旋律を歌詞唱する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後の高度経済成長期に国民的人気歌手であった坂本 九が歌い、日本を代表する歌謡曲として知られていることを伝え、曲の背景を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の特徴や魅力を探ろうとする意欲をもっている。 <p>【1：表情観察，行動観察】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞唱を通して、曲の魅力や味わいを生み出す旋律線や歌い方を理解し、表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律線の特徴を捉えさせる。 ・ 旋律と言葉の結び付き（特に母音をのばす部分）に関心をもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律の流れに合った言葉の効果的な発音を工夫している。 <p>【2：発言内容，演奏聴取】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主旋律にハーモニーを加え、その効果を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲の構成として、斉唱と合唱の部分が区別されていることと、合唱部分では主旋律とバックコーラスに分担されていることを理解させる。 ・ 役割分担をいろいろな形で試行し、声の重なり方の多様性とそのおもしろさを体験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当したパートの役割を理解して歌っている。 <p>【2：演奏聴取，行動観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 曲想にふさわしい歌唱表現力が身につけている。 <p>【3：演奏聴取，行動観察】</p>

帰れソレントへ 学習と指導の流れの例

■学習の目標：調や速度の変化を生かした表現を工夫しよう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：旋律／速度／音色

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 転調やリズムの反復などの音楽的な変化や構成に関心をもち、意欲的に表現の工夫につなげようとしている。
2. 曲の随所に現れる調の変化や速度記号などを理解し、どのように表現するかについて、思いや意図をもっている。
3. 音楽的な変化を理解し、カンツォーネの特徴を生かしたのびやかな歌声を身につけて歌っている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
・ 日本語で歌詞唱をする。	・ リズムや音の高さに気をつけながら歌わせる。	・ 曲の音楽的な変化や構成について関心をもち、これからの活動に向けて主体的に取り組もうとしている。 【1：表情観察，行動観察】
・ 原語による範唱を聴く。	・ 曲想や速度の変化などが表情豊かに表現されていることに気付かせる。	・ 転調による音楽的な変化や速度記号などを理解し、表現の工夫につなげている。 【2：表情観察，行動観察， 発言内容】
・ 調の変化を感じ取る。	・ 日本語で歌詞唱をし、教科書 p.21 の同主調の説明を参考にしながら、調の変化や先行する伴奏の和声進行に注目して曲想の変化を理解させる。	
・ 速度記号を生かした表現づくりをする。	・ 随所に表示されている速度記号の意味を理解し、それらを生かした表現を工夫させる。	
・ これまでに学習した音楽的な変化を生かして歌唱する。	・ 音楽的な変化を感じ取ったうえで、その特徴を生かしたカンツォーネらしい歌声づくりを目指して表現を工夫させる。	・ 曲の音楽的な変化を理解し、カンツォーネの特徴を生かしながら表情豊かに歌っている。 【3：行動観察，演奏聴取】

自由への讃歌 学習と指導の流れの例

■学習の目標：強弱の変化を生かして合唱しよう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：テクスチュア／強弱／形式,構成／音色

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 混声四部合唱の活動に意欲的に取り組もうとしている。
2. 歌詞の内容を理解し、ハーモニーや強弱の変化と合わせて、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
3. 楽曲の構成やパートの役割を理解し、混声四部合唱の響きにふさわしい発声を身につけている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
・ 歌詞を音読する。	・ 原語（英語）の発音に注意させる。	・ 楽曲に興味・関心をもって取り組んでいる。
・ 原語による範唱（合唱，原曲）を聴いてみる。	・ 原曲と聴き比べてみて，より深いイメージをもたせる。	【1：表情観察，行動観察】
・ パート練習をする。	・ リズムや音の高さ，動きに気をつけながら歌わせる。	・ 自分のパートの役割を理解し，合唱の響きや曲想を感じ取りながら歌っている。
・ 全体で合唱練習をする。	・ ユニゾンから始まり，二部，三部，四部へと音の重なりが広がっていることを理解しながら歌わせる。 ・ 各フレーズごとの強弱の変化にも注目させる。	【3：表情観察，行動観察】
・ 歌詞の意味を理解し，音の重なりや強弱の変化を生かして合唱する。	・ 歌詞の意味を理解し，フレーズの反復と，ハーモニーや強弱の変化を生かして表現を工夫させる。	・ 歌詞の意味を理解し，ハーモニーや強弱などの音楽的な変化を生かした歌唱表現をするための技能を身につけて歌っている。 【3：行動観察，演奏聴取】

早春賦 学習と指導の流れの例

■学習の目標：強弱の変化を生かした表現を工夫しよう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：強弱／形式,構成

教材の評価規準の例（歌唱）

1. 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
2. 強弱や形式の特徴を感じ取り、歌詞の内容や曲想を味わいながら曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
3. 歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
・ 曲全体を階名唱する。	・ 旋律の流れに合わせて、スムーズな息の流れにのせて歌わせる。	・ 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
・ 歌詞を朗読し、歌詞の表す情景と心情を感じ取る。	・ 歌詞を朗読して、言葉の意味を理解させ、情景のイメージをもたせる。 ・ 作詞者、作曲者について説明する。	【1：演奏聴取，行動観察】
・ 言葉の発音に気をつけて曲全体を歌詞唱する。	・ 言葉を明確に発音させ、歌詞と旋律が生み出す曲想を感じ取りながら歌わせる。	・ 音程やリズムに気をつけて歌っている。 【3：演奏聴取】
・ 旋律の特徴，強弱の変化，曲の形式の特徴を理解し，工夫して歌う。	・ 旋律の特徴と曲の形式に気付かせる。 ・ 強弱に着目させ，それぞれ同じ歌詞の部分に，なぜそのような強弱記号がついているのかを考えさせ，どのように工夫して歌えばよいかを意見交換させる。 ・ 強弱の変化がどのような効果を生み出しているかを感じ取りながら歌わせる。	・ 強弱の変化や旋律と曲の形式の特徴を感じ取り，歌詞の内容や曲想を味わいながら，曲にふさわしい音楽表現を工夫している。 【2：発言内容，演奏聴取，ワークシート】
・ 歌詞を味わい，曲全体の曲想を感じ取りながら，音楽表現を工夫して歌う。	・ 歌詞を味わい，情景を想像し，曲全体の曲想を感じ取りながら音楽表現を工夫して歌わせる。	・ 歌詞の内容や曲想を生かし，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身につけて歌っている。 【3：演奏聴取】

Let's Create! 学習と指導の流れの例

■**学習の目標**：楽器を使って，2人のやりとりをアンサンブルにしてみよう。

●**主な学習の窓口**〔共通事項〕：リズム／テクスチャ／強弱／速度／形式,構成／音色

教材の評価規準の例（創作）

1. 2人のやりとりの様子をリズムアンサンブルへと構成していく学習に主体的に取り組もうとしている。
2. 呼びかけ（Call）と応答（Response）を通して，2人の気持ちを表現するリズムを工夫しながら，どのようなアンサンブルを構成するかについて思いや意図をもっている。
3. 反復や変化，対照などの音楽を構成する原理を活用しながら，自ら作成したストーリーにふさわしいリズムアンサンブルを構成する技能を身につけて音楽をつくっている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2人一組みでやりとりするアンサンブルにふさわしい，対照的な音色の楽器を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 打楽器類から選択することを基本とするが，音高の差をつけることを条件に鍵盤楽器や吹いて音を出す楽器の選択も可能とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 呼びかけと応答の形のアンサンブル活動に興味をもち，そのための対照的な音素材選びに主体的に取り組んでいる。 <p>【1：行動観察】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 p.27 の例を参考にし，呼びかけと応答のストーリーをつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合意する部分のみ，拒否する部分のみ，または，両方の部分を備えたストーリーをつくらせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合意と拒否のやりとりをストーリー化する活動に意欲的に取り組んでいる。 <p>【1：ワークシート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合意や拒否の様子を表すリズムの掛け合いを工夫し，アンサンブルへと構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リズムの掛け合いをする際，ストーリーの中で生じる合意や拒否の感情を表現するために，強弱や速度の変化などの工夫を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合意や拒否の様子をリズムの掛け合いに置き換えることに創意をもち，音楽を形づくっている諸要素の働きを活用しながら工夫している。 <p>【2：行動観察，演奏聴取】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ ストーリーの雰囲気にかつさわしい，まとまりのあるリズムアンサンブルを構成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽としてのまとまりが感じられるかを確かめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雰囲気にかつさわしい，まとまりのあるリズムアンサンブルを構成する技能を身につけている。 <p>【3：演奏聴取】</p>

ブルタバ（モルダウ） 学習と指導の流れの例

■学習の目標：オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取ろう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：旋律／テクスチュア／速度／音色

教材の評価規準の例（鑑賞）

1. 楽器の音色，旋律の動き，調性の変化，楽器や旋律の組み合わせ方，速度の変化や構造と曲想との関わりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4. 楽器の音色，旋律の動き，調性の変化，楽器や旋律の組み合わせ方，速度の変化や構造を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受している。
4. 作曲された当時の社会状況を背景に，作曲者がどのような思いをこの曲にこめたのかを感じ取って聴いている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 曲名，作曲者名，曲が生まれた背景などを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブルタバ川の流れに沿って描かれていること，チェコの歴史，スメタナについて要点を説明し，理解させる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の音色，旋律の動き，調性の変化，楽器や旋律の組み合わせ方，速度の変化や構造を知覚・感受し，標題と結び付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標題ごとに聴きながら，気付いたことや感じたことをワークシートに記入し，意見を交換させる。旋律，テクスチュア，速度，音色に着目し，音楽の特徴を理解させる。 ・ ワークシートや板書を活用して確実に学習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の音色，旋律の動き，調性の変化，楽器や旋律の組み合わせ方，速度の変化や構造を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受している。 <p>【4：ワークシート，発言内容】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作曲者の思いが音楽にどのように表わされているか，また，要素や構造と曲想との関わり，楽曲のよさや美しさなどについて，自分なりの解釈を書くように助言する。 ・ 批評を発表し合い，音楽の味わいをいっそう深め，学習内容を共有させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の音色，旋律の動き，調性の変化，楽器や旋律の組み合わせ方，速度の変化や構造と曲想との関わりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 <p>【1：発言内容，ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して，作曲者がこめ

		<p>た思いを解釈したり価値を 考えたりし，根拠をもって 批評するなどして，音楽の よさや美しさを味わってい る。</p> <p>【4：ワークシート，発言内 容】</p>
--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

「レクイエム」から“涙の日”／エチュードハ短調（「革命」）／
 交響曲第9番「新世界より」から第1楽章／
 バレエ音楽「春の祭典」から“序奏”～“春のきざし” 学習と指導の流れの例

■学習の目標：曲の背景を知って、名曲を味わおう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：リズム／旋律／強弱／速度／音色

教材の評価規準の例（鑑賞）

1. それぞれの音楽や楽器の特徴に興味・関心をもって聴いている。
4. それぞれの音楽や楽器の特徴を、国や地域の文化、歴史などと結び付けながら理解して聴いている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの曲の背景を知り、鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムや旋律、強弱、速度、音色などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じさせる。また、音楽の特徴をその背景となる文化、歴史や他の芸術と関連付けて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各時代のさまざまな音楽の特徴に興味をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。 <p>【1：表情観察，行動観察】</p>
[レクイエム] [エチュード] [交響曲第9番「新世界より」] [春の祭典]	<ul style="list-style-type: none"> 旋律の美しさや管弦楽と合唱の響きの重なりに着目させる。 リズムや旋律、速度、強弱の変化と時代背景や作曲者の気持ちとの関わりに着目させる。 リズムや旋律の特徴と曲がつけられた時代背景との関わりに着目させる。 複雑なリズムや斬新な音色の特徴と、時代背景や他の芸術との関わりに着目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの音楽を形づくっているリズムや旋律、強弱、速度、音色などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じて、その音楽がつけられた背景との関わりを理解しながら鑑賞している。 <p>【4：発言内容，ワークシート】</p>

白鳥の湖／フィガロの結婚 学習と指導の流れの例

■学習の目標：曲のよさをプレゼンテーションしてみよう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：リズム／旋律／テクスチャ／強弱／速度／音色

教材の評価規準の例（鑑賞）

1. 音楽の聴きどころを見つけ、その根拠を言葉で表す学習に主体的に取り組もうとしている。
4. 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きによる特徴や雰囲気を感じながら、諸要素と曲想との関わりを理解するとともに、聴きどころを自分で選び、根拠をもって価値を述べるなどして、音楽のよさや美しさを味わっている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 つの曲を聴き比べて好きなほうを選び、気に入ったところ、印象に残ったところなどをメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 印象に残ったところを引き出す活動では、生徒の直感的な印象を大切にするため、教師側からはなるべく例示しないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直感的に曲想や曲の特徴を捉えようとしている。 <p>【1：発言内容，ワークシート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ メモした内容の根拠を、音楽を形づくっている要素から明らかにし、他者に説明（プレゼンテーション）できるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師側からの例示を通して、生徒個々の知覚・感受を促すようにする。 <p>（例：Music A「限りなく美しい旋律と楽器の音色。それを支える弦楽合奏との重なり。」）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴きどころを支える音楽を形づくっている要素を適確に知覚している。 <p>【4：発言内容，ワークシート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いにプレゼンテーションし合い、それぞれの曲の聴きどころや魅力などがじゅうぶんに伝えられているかを相互評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽を形づくっている諸要素の働きの解説に偏りすぎて、「おすすめする」というプレゼンテーションの雰囲気が損なわれないように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ “おすすめ”の根拠を音楽を形づくっている要素から明らかにし、他者に分かりやすく伝えることができる。 <p>【4：発言内容】</p>

雅楽 学習と指導の流れの例

■学習の目標：日本の伝統音楽に親しもう。—雅楽の音楽—

●主な学習の窓口〔共通事項〕：リズム／旋律／テクスチャ／速度／音色

教材の評価規準の例（鑑賞）

1. 我が国の雅楽独特の音色や響き、音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4. 雅楽独特の音色や響き、音楽の多様性などを背景となる文化・歴史と関連付けて理解して聴き取り、言葉で伝えるなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> 教科書 p.34・35 の図を見て、旋律の現れ方、使われている楽器、楽器の入り方などについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の図を見ながら聴いて理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 雅楽の音楽や使われている楽器の特徴を捉える学習に意欲的に取り組んでいる。 <p>【1：ワークシート，発言内容】</p>
<ul style="list-style-type: none"> それぞれの楽器の音色や役割、表れ方の特徴などを聴き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの楽器の音色や役割、表れ方の特徴を聴き取り、ワークシートにまとめさせる（音色については擬音で表すことも可とする）。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの楽器の音色、旋律、リズム、役割やテクスチャなどを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている。 <p>【4：ワークシート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> 聴き取った音色や役割、特徴などを発表し合い、雅楽の特徴をまとめ、理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 聴き取った音色や役割、特徴などを発表させ、雅楽の特徴を次の視聴のためにまとめる。 	<p>【4：ワークシート】</p>
<ul style="list-style-type: none"> 雅楽「越天楽」を映像で視聴し、雅楽独特の音色や響きの特徴について批評文にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> DVD を視聴し、雅楽独特の音色や響きの特徴について、批評文にまとめさせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器の音色や響き、旋律、速度、リズムなどの特徴を捉え、背景となる文化・歴史と関連付けて理解し、雅楽について自分なりの価値意識をもってよさや美しさを味わっている。 <p>【4：ワークシート】</p>

能 学習と指導の流れの例

■学習の目標：日本の伝統音楽に親しもう。—能の音楽—

●主な学習の窓口〔共通事項〕：リズム／旋律／テクスチャ／速度／音色

教材の評価規準の例（鑑賞）

1. 声や楽器の音色，謡の特徴などとその背景となる文化・歴史に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4. 声や楽器の音色，旋律，速度などを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じて，謡の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解しながら聴き，音楽のよさや美しさを味わっている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面 1 を発声や節回し，言葉の特徴に着目しながら聴き，気付いたことをワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 節回しと言葉の特徴については，事前に触れておくと聴き取りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 謡の発声や節回しに関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴き取ったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気付いたことを共有できるように，自分の意見とともに，他の人の発表内容も記入するよう指示する。 	<p>【1：ワークシート，発言内容】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 p.36・37，口絵 6 から，謡，使われる楽器，面，「羽衣」のあらすじについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書を見ながら謡や楽器，「羽衣」のあらすじ，面について理解させる。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面 1 と場面 2 について，歌詞を見ながら，旋律，速度やリズムの変化などを聴き取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞が書かれたワークシートを用い，節回し，速度やリズムの変化，節や拍，間などを聴き取って記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律や音色の特徴，速度やリズムの変化などを知覚し，謡の特徴や雰囲気を感じ取っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 互いに発表し合い，特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 聴き取ったことを発表し合い，謡の声の特徴や楽器との関わりについて意見をまとめさせる。 	<p>【4：ワークシート，発言内容】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「羽衣」を映像で視聴し，その特徴やよさ，味わいを聴き取り，批評文にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで聴き取ったことを，DVDの視聴と関連付けて理解し，謡の特徴とよさや美しさ，その価値などをワークシートにまとめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旋律，音色，速度やリズムの変化などを特徴として捉え，背景となる文化・歴史と関連付けて理解し，謡について自分なりの価値意識をもってよさや美しさなどを味わっている。 <p>【4：ワークシート】</p>

世界の諸民族の音楽 学習と指導の流れの例

■学習の目標：世界各地の楽器の演奏を味わおう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：リズム／旋律／テクスチュア／音色

教材の評価規準の例（鑑賞）

1. 世界の諸民族の音楽や楽器に興味・関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組んでいる。
4. 世界の諸民族の音楽や楽器の特徴を、国や地域の文化、歴史などと結び付けて理解しながら聴いている。
4. 世界の諸民族の音楽や楽器の特徴から音楽の多様性を理解し、解釈したり価値を考えたりして鑑賞している。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の諸民族の楽器（撥弦楽器）を聴き比べる。 〔ツィター〕 オーストリアなど 〔サウンガウ〕 ミャンマー 〔ピーパー〕 中国 〔チャランゴ〕 ボリビアなど 〔シタール〕 インド 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の諸民族のさまざまな音楽や楽器の多様性や特徴を理解させる。 ・ 旋律と伴奏の関わりに着目させる。 ・ 旋律の特徴に着目させる。 ・ 奏法の違いによる音の変化に着目させる。 ・ 奏法の違いによる音の変化に着目させる。 ・ 旋律の音の動きや響きの余韻に着目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の諸民族のさまざまな音楽や楽器に興味をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 【1：表情観察，行動観察】 ・ 世界の諸民族の音楽を形づくっているリズムや旋律，テクスチュア，音色などを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら鑑賞している。 【4：発言内容，ワークシート】
<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界には他にどのような撥弦楽器があるかを調べて鑑賞し，そのよさを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の諸民族の音楽や楽器について，インターネットなどを活用して調べたことをまとめ，自分なりの価値を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の諸民族のさまざまな音楽や楽器の特徴から，音楽の多様性を理解し，解釈したり価値を考えたりして鑑賞している。 【4：発言内容，ワークシート】

ポピュラー音楽 学習と指導の流れの例

■学習の目標：ポピュラー音楽を聴いて、その特徴を味わおう。

●主な学習の窓口〔共通事項〕：リズム／旋律／テクスチャ／音色

教材の評価規準の例（鑑賞）

1. さまざまなポピュラー音楽を聴き比べて、音楽を形づくっている要素や構造の働きが生み出すそれらの曲想の違いに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
4. リズム、旋律、テクスチャ、音色等の音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸要素や構造と曲想との関わりを理解し、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

学習内容	指導上の留意点	評価規準例【評価方法】
<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまなジャンルのポピュラー音楽を聴き比べ、それぞれが気に入った点とその理由をメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ うまくメモできない生徒には具体例（にぎやか、静か など）を示し、自分なりに感じられるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲を聴いて自分なりに価値付けしようと努めている。 <p>【1：ワークシート，発言内容】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの楽曲のジャンル名、発祥の地、歌の場合はどこの国の言葉でつくられているか、曲を支配するビート、使われている主な楽器などについて調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べることによって楽曲の成り立ちを知るのと同時に、楽曲本来の味わいや表現の特徴などの理解にもつながることを指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲が生まれた背景に興味を持ち、意欲的に鑑賞している。 <p>【1：ワークシート，発言内容】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ メモした点の根拠を、音楽を形づくっている要素の働きとの関係からも探り、言葉で解説できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、ドラムスの刻み方、ピアノやギターのコードの刻み方などから生じる激しさや柔らかさというような味わいなどについて、具体的な観点から考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の特徴を、音楽を形づくっている要素の働きと関連付けながら理解し、曲想との関わりを言葉で説明している。 <p>【4：ワークシート，発言内容】</p>